

長久手市はこんな街

人口 59,338人
(R1. 12. 1現在)

- 住みこちランキング全国7位
政令指定都市の区を除いて単独市では**第1位**です。（企業調べ）
- 住民の平均年齢が日本中で最も若い市です
- 2005年に万博愛・地球博が開催されました

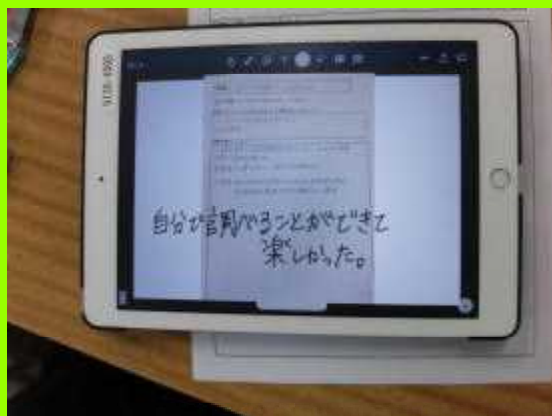
南中学校の特色

提



- ICT環境の充実
各教室にプロジェクター、パソコン、教材示装置が設置

- タブレットを使った授業も実施します



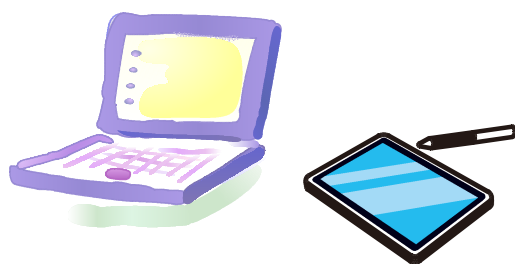
- 自分の考えをクラスの人々と意見を交流することができます。

日々の授業実践

- 新学習指導要領の趣旨の「主体的 対話的で深い学び」を先取りした授業実践を行っています。



- 授業改善に向けた教職員の研修を行っています。日々の授業を見合い分かちやすい授業に心がけています。



学習規律の確認をします
「現職教育研修会」



ペアでの学習はどう進めましょう
「英語科部会」

- ICTの環境が整い、視覚に訴えたり時間を効率よく使ったりする工夫された授業を実践します。定期的に機器の操作を学ぶ研修会も実施しております。男女年齢関係なく使えるようになりました。

学習指導案の一例

○ 各指導案に目指す生徒の姿に向けた手立てを立てます。

教育課程 2国13

第2学年2組国語科学習指導案

令和元年

第4時限

指導者

- 1 単 元 話し合って考えを広げよう「パネルディスカッションをする」
- 2 目 標
 - (1) 討論の形式や役割を理解し、実際に討論に参加して、話し合うことの意義や価値を理解しようとする。 (関心・意欲・態度)
 - (2) 資料や情報を収集し、意見とそれを支える説得力のある根拠を整理してまとめることができる。 (書く)
 - (3) 社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、論理的な構成を考えて話すことができる。 (話す・聞く)
 - (4) 相手の意見や考えを尊重しながら目的に沿って討論し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げることができる。 (話す・聞く)
- 3 指導計画 (7時間完了)
 - 第1時 討論 (パネルディスカッション＝PD) の方法と意義を知り、テーマを決める。
 - 第2・3時 テーマに対する立場を考え、グループで説得力のある意見と根拠を考える。
 - 第4時 (本時) 自分たちの意見の問題点を把握し、より説得力のある意見を考える。
 - 第5・6時 進行を把握し、討論 (PD) を2回行う。
 - 第7時 討論 (PD) を振り返り、話し合うことの意義や価値を理解する。
- 4 本時の指導
 - (1) 目 標
 - 相手の立場や意見、考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げることができる。 (話す・聞く)
 - 資料や情報を収集し、意見とそれを支える説得力のある根拠を整理してまとめることができる。 (書く)
 - (2) 目指す生徒の姿
 - 他のグループの意見や考えを聞き、考えを比較・検討することで、より説得力のある意見を考えられる生徒。
 - (3) 目指す生徒に迫る手立て
 - 広げる学び
 - 聞き手が移動し、全グループが一斉に発表する形式 (出張タイム) によって、他のグループから情報を集め、その情報に基づき話し合い、考えを広げさせる。
 - (4) 準 備 (教) タブレット (9)、ノートPC、ワークシート、ホワイトボード (9)
 - (生) 振り返りシート (「できた!」シート)
- (5) 指導過程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
5	1 前時までの学習を想起し、本時の学習課題と活動内容を知る。 (1) 前時の確認をする。	○ 前時の確認として議論を通し、考えを深めることが目的であることを押さえる。	

	(2) 本時の学習課題を知る。 他のグループの意見と比較し、より説得力のある主張ができるようにしよう。 (3) 活動内容を知る。	○ 他のグループの意見や考えを聞き、考えを比較・検討することで、より説得力のある意見や考えをまとめることができる。 ○ 出張タイムの役割を確認し、4～5人の班隊形を作らせ、司会者、書記、運搬、発表の役割を伝える。	○ 本時の学習課題をつかむことができたか。 (観察) ○ 活動内容を理解しようとしていたか。 (観察)
35 (40)	2 他のグループの意見や考えを聞き、より説得力のある意見や考えをまとめる。 (1) 聞き手が移動し、全グループが一斉に発表する形式 (出張タイム) で他の班の意見を聞く。 (2) グループで話し合う。 ▲ グループで結果を報告し、自分たちのグループに足りない力を見つけよう。 ・ ○○グループは「走」について詳しく述べていた。(具体性) ・ アピールするために具体的にどんな取り組みをするか。(具体性) ・ 確かなデータを提示するとわかりやすい。(客観性・データ) ・ 身近な事例の方がイメージしやすい。(共感性)	○ テーマ別 (2テーマ)、立場ごと (4立場) の代表者が集まって、グループワークを行う。 ○ 8グループが一斉に発表者と聞き手に分かれて発表を行わせる。 ○ 聞き手に、自分のグループの主張と比べながら聞かせ、主張に対して質問や意見を出させる。 ○ 得た情報を付箋にメモさせる。「説得力のある主張に必要な点」という視点をもたせる。 ○ ホワイトボードに付箋を貼り付け、説明を加えながら、聞き手は他のグループがどのような主張をしていたか報告。発表者は主張に対して出た質問や意見を報告させる。 ○ 類似の意見で付箋を分類し、グループ内で、主張に足りない力を考えさせ、ホワイトボードに書かせる。 ○ 聞き手が移動し、全グループが一斉に発表する形式 (出張タイム) によって、他のグループから情報を集め、その情報を元に話し合い、考えを広げさせる。 (広げる学び) ○ 必要に応じて、タブレットや書籍で情報を再収集する。	「話す・聞く」 相手の立場や意見、考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げることができたか。 (観察・ワークシート) 「書く」 資料や情報を収集し、意見とそれを支える説得力のある根拠を整理してまとめることができたか。 (観察・ホワイトボード) 「目指す生徒の姿」 他のグループの意見や考えを聞き、考えを比較・検討することで、より説得力のある意見や考えをまとめることができたか。 (観察)
10 (50)	4 本時の振り返りをする。 (1) 「できた!」シートに振り返りを記入する。	○ 本時の学習を基に、今日学んだ「説得力のある意見に必要なこと」を振り返りシートに記入させる。	

19

19

なぜ勉強するのか「学びの手引き」が教えてくれます



※各教科ごと PDF で